仙台整形だより

Vol.1

仙台整形外科病院　〒984-0038　仙台市若林区伊在字東通24番地
URL http://www.sendaiseikei.or.jp
TEL 022-288-8900（代表）
FAX 022-288-8994

基本理念

患者さんと地域に信頼される、質の高い整形外科医療を行います。
患者さんの権利を尊重し、ともに歩む医療を行います。
やさしさと思いやりにあふれた医療サービスに努めます。

患者さんの権利

人格が尊重され、プライバシーが守られる権利
より適切な医療を平等に受けられる権利
病気と診療内容、医療費などについて十分に知る権利
診療内容や治療機関などを選択し、決定する権利

創刊によせて

病院長　佐藤哲朗

仙台整形外科病院は昭和61年に仙台地区の整形外科医療の拡充を目指して津久井名誉院長をはじめとした有志（社団白嶺会）によって設立された整形外科専門病院です。整形外科専門医と麻酔科専門医が協力して、加齢に伴って生じてくる背骨や関節の病気、下肢の骨折などを中心に県内各地から訪れる患者さんの治療にあたり、年間手術件数は約700件に及んでおります。

さて、私たちは医療を行うにあたって「ともに歩む医療」を基本理念にかかげております。これは医療を受ける側と行う側、どちらが主体ということではなく、患者さんも医師も、その他医療にかかわるすべての人びとが共に手を取りあってベストの医療スタイルに向かって歩んでいく姿を理想と考えているからです。そのような意味で、この広報誌が患者さんと私どもの病院、そしてそこに働いているスタッフとの架け橋となることを願っております。

創刊号ではスタッフの紹介が中心となりましたが、今後は病気のお話なども盛り込んで行く予定です。本冊子が末永く皆様に愛読されることを目指しておりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。

当院の医師たち

津久井　俊行（名誉院長）　TOSHIYUKI TSUKUI

昭和34年、東北大卒。専門分野は股関節外科（専門医認定）で、公認スポーツドクターでもあります。公立気仙沼病院、国立鳴子病院、東北大学病院、国立療養所西多賀病院に勤務した後、昭和61年12月当院を設立し、院長、理事長として病院の基礎固めを行いました。平成14年７月からは名誉院長として診療にあたっております。趣味はスキー、水泳、外国語会話です。

佐藤　哲朗（院長）　TETSURO SATO

昭和48年、東北大卒。平成14年７月、津久井理事長との縁で、東北大整形外科の助教授から当院の院長に就任しております。卒後約30年間、整形外科の中でも脊椎・脊髄外科を主体に、西多賀病院、東北労災病院、東北大学病院で診療してまいりました。これからも、患者さんに安全で納得できる医療を提供することに邁進したいと思っております。

入江　紀一（副院長）　NORIKAZU IRIE

昭和42年、東北大卒。整形外科学とリハビリテーション医学を学びました。現在は、膝関節疾患、とくに変形性膝関節症の治療に力を入れています。手術的治療では最近、膝関節全置換術をする症例も増えていますが、脛骨高位骨切り術275例の経験では本法が有効な症例も多いので、こちらの治療も続けたいと思っています。趣味は弓道、夢中です。

大塚　耕司（副院長）　KOJI OTSUKA

昭和42年、東北大卒。東北大鳴子分院整形、東北大学病院麻酔科、宮城野病院整形外科を経て、平成元年から当院に勤務しています。骨折や腰痛などの多くの患者さんの治療を行ってきました。これからも皆さんの期待に応えられるような診療を心掛けていきたいと思います。

杉田　健彦（副院長）　TAKEHIKO SUGITA

昭和54年、東北大卒。昭和60年頃から膝の勉強を始め、平成４年からは、大学病院でずっと膝を専門に診療してきました。膝の病気には、加齢による変形性膝関節症や、スポーツによる半月板損傷や靭帯損傷など多くのものがあります。快適な老後そしてスポーツ活動のために診療技術の向上に努めたいと思います。

兵藤　弘訓（整形外科部長）　HIRONORI HYODO

昭和62年、岩手医大卒。いわき市立総合磐城共立病院での研修を経て平成元年から３年間東北労災病院で佐藤哲朗院長の下で脊椎疾患の基礎をたたき込まれました。その後、東北大学ではさまざまな人間関係を垣間見、一関病院では一般整形外科・古川市立病院では主に外傷を経験し、平成10年から当院に勤務しています。

佐々木　祐肇（整形外科医師）　HIROTOSHI SASAKI

平成５年、北里大卒。卒後２年間は麻酔科を研修し、平成７年、東北大整形外科に入局しました。当院には平成11年から勤務しています。現在は、主に脊椎疾患を中心に診療にあたっています。疾患を十分に理解していただけるよう説明をしっかり行うこと、患者さんの気持ちを理解することに、日々努めております。

魚住　弘明（整形外科医師）　HIROAKI UOZUMI

平成10年、東北大卒。釜石市民病院、仙北組合総合病院、東京逓信病院で２年間ずつ勤務をし、平成16年９月から当院で働いています。これまで外傷、膝関節を中心とした関節疾患、脊椎疾患を学んで来ました。特にスポーツや変形に伴う膝関節疾患を学ぶ機会が多かったこともあり、当院では外傷と膝関節疾患を中心に診療にあたっています。

玉置　拓夫（整形外科医師、非常勤）　TAKUO TAMAKI

元東北大学教授。当院開設時からのメンバーで、現在も週２回、午後の外来を担当しております。

永沼　亨（整形外科医師、非常勤）　TORU NAGANUMA

平成元年、名古屋保健衛生大卒。東北大学整形外科教室に入局し、東北労災病院、宮城利府腋済会病院で、佐藤哲朗先生に脊椎外科の御指導を仰ぎました。平成15年から仙台整形外科病院に非常勤として勤務しています。患者さんの立場に立った医療を心がけております。

東郷　ひろみ（中央手術部長）　HIROMI TOGO

当院は日本麻酔科学会の認定病院で、私も含め20年余の経験を持つ麻酔専門医が２人働いています。麻酔科は意識・痛み・循環・呼吸・輸血・救急蘇生・感染など非常に興味深い分野に関わっている総合的な診療科です。手術中の内科医ともいえるでしょう。当院では自己血輸血や、AED（自動体外式除細動器）設置管理も担当しています。

遠藤　純子（麻酔科部長）　JUNKO ENDO

私たち麻酔科医は、手術がスムーズにかつ安全に進められるように周術期の患者さんの全身管理にあたっています。患者さんひとりひとりに合った麻酔法を考慮して、できるだけ快適で質の高い麻酔を提供できるよう努めております。

当院の医師たち

www.sendaiseikei.or.jp
TEL 022-288-8900

渡辺　睦道（内科医師、非常勤）　YOSHIMICHI WATANABE

昭和24年３月に医籍登録をしましたので、もう55年位医者をやっている古参者です。30年以上も愛用しているドイツ製の聴診器を宝物としています。昭和63年から当院にまいりました。平成７年から老健施設はくれいの施設長をしていましたが、平成15年４月から再び非常勤医師として、この病院に勤めています。

千葉　正道（内科医師、非常勤）　MASAMICHI CHIBA

内科（糖尿病・消化器）を担当しています。東北大第三内科で修練し、公立気仙沼病院、仙台社会保険病院等を経て、現在宮城県成人病予防協会　中央診療所（アエル12F）に勤務しています。高齢化社会を迎えて、当院での内科的疾患の合併が増加しています。これまでの経験を生かして、診療に貢献できればと考えています。

三又　知文（内科医師、非常勤）　TOMOFUMI MIMATA

術前の血圧、不整脈、心不全などの異常をコントロールし、安全に手術が受けられる状態にすることが主たる仕事です。内科的疾患の多くは整形外科と異なり、自覚症状に乏しく、検査をして初めて病気の存在を知ることになります。心臓超音波検査、24時間心電図検査、血液検査を駆使して病態を的確に判断するようにしております。

三又　陽子（内科医師、非常勤）　YOKO MIMATA

専門は消化器、血液学ですがよろず相談と自認しています。今まで色々な事情でそのままになっていた病気、体調不良に関する悩み、その他諸種病気に関する不安、悩み等何でもおっしゃっていただき、少しでも楽しい入院生活になるよう願っております。病気を介してではありますが、良い出会いであったと思っていただけるよう努めてまいります。

SENDAI ORTHOP HOSPITAL

受付窓口

受付窓口では新患・再来の患者さんの受付、医療費の計算、会計、入院の手続き、お見舞いの方への院内案内等を行っています。

当院に、おいでになった方々と、まず一番最初にお会いする《顔》です。どうぞよろしくお願いいたします。

私達は、病院の理念である『やさしさと思いやりにあふれた医療サービスに努めます』を念頭に置き、当院を訪れた患者さんが快く、安心して受診していただけるように、いつでも《笑顔》で《明るく》スムーズに対応できるように、心がけております。

外　　来

外来では医師2～3名、看護部のスタッフ6名が1日約100名の患者さんに対応しております。

受付から終了までに２～３時間位かかる場合もございますのであらかじめご了承ください。

ティールーム（モンブラン）でもお呼び出しのアナウンスが聞こえるようになっておりますので、軽食などをお召し上がりながらお待ちいただくこともできます。

外来担当医には、それぞれ得意とする分野がございます。初めての方は受診される前にお電話いただければ、アドバイスいたしたいと存じます。

薬 剤 部

薬剤部は小野洋司（写真右）、佐々木敏郎（写真左）、高橋忠（写真中）の３名の薬剤師が担当しております。

当院は、『地域に信頼される質の高い整形外科医療』を基本理念に掲げております。この理念にそってわれわれ薬剤師は約600品目の医薬品の安全な管理に努め、より良い薬物療法に取り組んでいます。また調剤は正確に行い、患者さんにはほとんどお待たせしないでお渡しするように努めております。

処方されたお薬の「お薬情報紙」をご希望の方は薬剤師までお声がけください。発行の上、お薬の説明をいたしております。

放射線部

放射線部は患者さんの臨床画像を医師に提供している部門で、４名の診療放射線技師が担当しております。

まず初めに受けられる検査は、単純エックス線撮影ではないでしょうか。いわゆるレントゲン写真といわれ、骨、関節を多方向から撮影し、病変の診断に用います。最近では画像のデジタル化により、より良い画像の提供ができるようになっております。

同じエックス線を使用したものでCT検査があります。これはエックス線を身体に回転照射しながらコンピュータ処理し、単純エックス線写真では得られない身体の輪切りの画像（立体的に表示することも可能）を作りだすものです。強力な磁石を使用しているのがMRI検査です。コンピュータ処理により身体の内部の病変を色々な角度から画像にすることができます。脊髄、神経、靭帯、筋肉、脂肪などが大変わかりやすく写せるため、椎間板ヘルニア、脊髄病変、軟部腫瘍、四肢の靭帯損傷、膝の半月板損傷、圧迫骨折などの診断に用いられています。

これらの検査では特別な指示がない限り食事は普通に摂って結構です。

医療相談室

医療相談室では、患者さん、ご家族の希望により、外来受診、入院治療、看護、入院生活に関する疑問についてお話を伺い一緒に考えております。

医療費、各種貸付制度などについてもご説明いたします。

介護問題などについても、解決に時間がかかる場合もありますが、アドバイスいたしております。

相談には前看護部長があたっております。この道のプロではありませんが、みなさんのお話をお聞きすることで長い看護の経験がお役に立つのではと思っております。

お聞きした内容は外部にはもらしません。お気軽にご相談ください。

☆　相談室は二階看護部長室の隣にあります。

☆　相談時間は月曜～木曜日の10：00～16：00
（金曜日は12：00まで）

診察の流れ

www.sendaiseikei.or.jp
TEL 022-288-8900

6時30分に正面玄関が開きます。

7時30分に診察申込書入れをお出しします。
診察券または診察申込書を入れてお待ちください。

8時30分からお呼び出しいたします。
呼ばれるまで、外来待合１番でお待ちください。

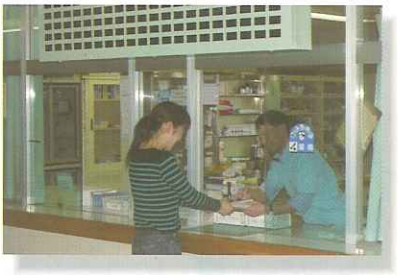
お名前が呼ばれましたら、会計の受付でカルテと
番号札を受けとり、外来２番の窓口へ。

外来２番でカルテを出して、お待ちください。
（番号札は、ご自分でお持ちください。）

診察室や放射線部からお名前をお呼びします。

診察終了後、看護師がカルテをお渡ししますので
会計１番窓口へカルテをお出しください。

お名前が呼ばれましたら、料金をお支払いください。



お薬のある方は、薬局10番窓口に処方せんをお出しください。
お薬をお受け取りください。

お気をつけてお帰りください。

交通のご案内

www.sendaiseikei.or.jp
TEL 022-288-8900

お車をご利用の方

仙台市中心部からお越しの方
① 六丁の目交差点を過ぎてから２つ目の歩道橋を右折
② 右折してから１つ目の信号の右側が当院

仙台東ICからお越しの方
① 料金所を出て最初の信号を左折
② 左折してから３つ目の信号を左折
③ 左折してから１つ目の信号の右側が当院

仙台市営バスをご利用の方

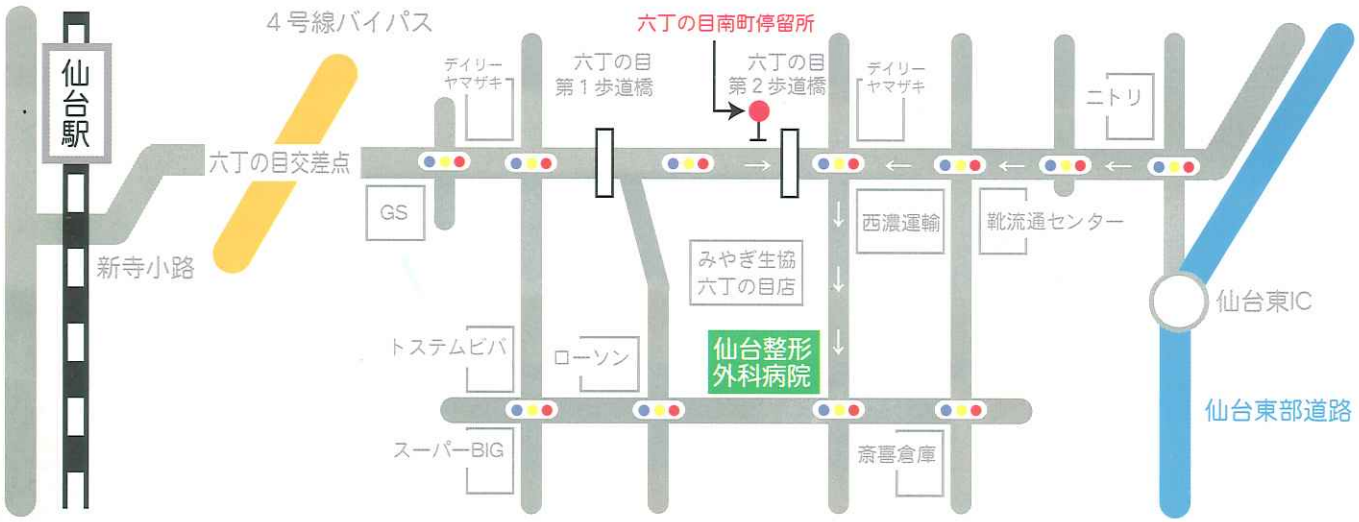
仙台駅西口バスターミナル → 約20分 → 六丁の目南町停留所

４番乗り場 新浜・岡田車庫行、賀茂皇神社行、キリンビール行
６番乗り場 六丁の目東町行 （若林区役所経由）

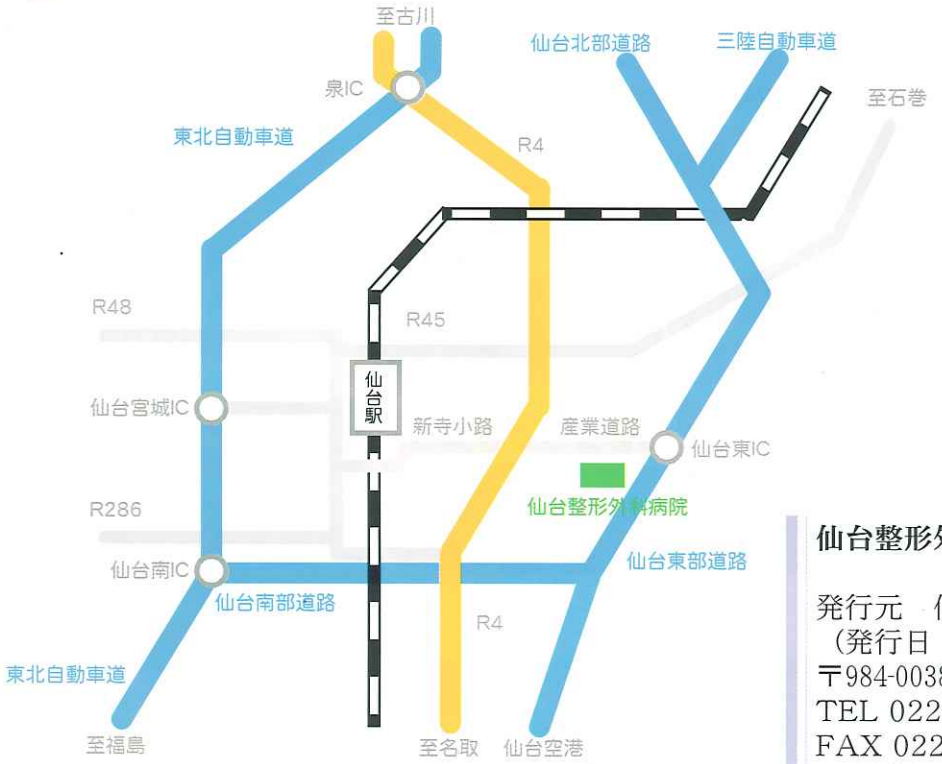
六丁の目南町停留所にて下車後、六丁の目第２歩道橋をわたり南約200m（徒歩５分）

仙台市営バス総合案内 TEL 022-222-2256

周辺地図



広域地図



仙台整形外科病院 広報誌 仙台整形だより

発行元 仙台整形外科病院 広報誌委員会
（発行日 平成17年１月）
〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通24番地
TEL 022-288-8900（代表）
FAX 022-288-8994
URL http://www.sendaiseikei.or.jp